PRTG ではじめる

Ping 死活監視

Rev. 1.1.1

2022.10.06



内容

1	はし	ごめに	L
2	PR'	TG による Ping 監視	L
	2.1	Ping センサーとデバイス	1
	2.2	Ping センサーの監視	2
	Pin	g センサーの監視画面「全般」画面	2
			3
	Pin	g センサーの監視方法とステータス変化	3
	各チ	Fャネルについて	5
	履歴	をデータ閲覧 グラフとデータテーブル	5
3	設定	2手順	7
	3.1	自動検出で複数デバイスと Ping センサーを一括登録	7
	前损	是環境	7
	事育	∫準備:監視対象機器の IP アドレスリスト	7
	自重	b検出実行手順	3
	3.2	通知設定12	2
	デフ	7ォルトの通知設定	2
	3.3	デバイスが自動検出されない場合1	3
4	Pin	g センサーの設定変更	3
5	まと	- こめ	5
免	貢事項	頁・使用限定事項	3
	本	、 ギュメントに関する免責事項16	3
	本ト	、 ギュメント使用に関する限定事項16	3

この資料について

この資料では PRTG Network Monitor(以降、PRTG と記す)を使用し、ネットワーク上の機器に対し Ping を用いた死活監視を実施する方法を紹介します。

1 はじめに

死活監視と Ping 監視

機器やソフトウェア、サービスやシステムなどが動作しているかを継続的に監視することを死活監視といいます。機器の死活監視の代表的な方法として Ping 監視があります。

Ping コマンドを実行して監視対象機器へ ICMP エコー要求を送信し、その応答有無で機器の死活を確認します。

2 PRTG による Ping 監視

PRTG は監視対象機器へ定期的に Ping を自動実行し、応答の有無から機器の死活を確認 します。また、応答有無と共に応答速度をデータとして保存します。応答が無い場合はアラ ートや通知を実行することができます。この章では、PRTG による Ping 監視の方法と監視 画面を紹介します。

2.1 Ping センサーとデバイス

PRTG では監視項目を「センサー」で監視します。監視対象機器「デバイス」にセンサー を追加して監視を行います。Ping 監視には「Ping」センサーを使用します。

監視対象機器をデバイスとして登録し、各デバイスに Ping センサーを追加します。複数 デバイスを Ping 監視する場合はデバイス数ぶんの Ping センサーを使用することになりま す。

PRTG のライセンスはセンサー数で決まります。100 センサーフリーライセンスでおおよ そ 100 デバイス、500 センサーライセンスでおおよそ 500 デバイスの Ping 監視ができます (PRTG 自己監視センサーがあるため、ライセンスのセンサー数と監視できるデバイス数は 完全一致しません)。PRTG には、Ping 監視以外の監視を行うセンサーも多数用意されてい ます。Ping 監視と併用することでネットワーク監視を充実させることができます。



デバイスツリー画面

複数のデバイスが登録され、それぞれに「Ping」センサーが追加されている 「Ping」センサー以外にもさまざまな監視をするセンサーが追加されている

2.2 Ping センサーの監視

Ping センサーの監視画面「全般」画面

Ping センサーの監視方法と画面を説明します。

Ping センサーは設定されたスキャン間隔(自動検出した場合のデフォルト値:30秒)ご とに監視対象機器へ Ping を実行し、その応答結果を表示、保存します。

センサーの「全般」画面ではタコメーターのような「チャネル」に応答結果の最新値が表 示されます。各チャネル詳細は後述します。

バイス ローカルプローフ	ブ ▼ 拠点ごとのグル	ノープ管理	▼ 東京本社 ▼ s2960G(C	isco29 🔻 Ping 👻	
ンサー Ping ^P ** 	******				"∄⊠ 2
(0) <u>全般</u> ライブデータ	2 30 日 日	365 日	▲ ■ 履歴データ ログ	 	り 留 コメント 履歴
最新スキャン: 8 秒	最新アップ: 8 秒		最新ダウン: 3 日 20 時間 39 分	アップタイム 99.9977%	.: 6
ダウンタイム: 0.0023%	適用率: 96%		センサータイプ: Ping	負荷:	
依存關係: 圖· 東京本社	監視間隔: 30 秒		Autonomous: いいえ	ID: #7494	
Ping 応答時間		バケット	損率 最大応答時間	最短応答時間	
Ping 応答時間		バケット 0 %	損率 最大応答時間 () ミリわ	■提述応答時間 0ミリ秒	
Ping 応答時間	80 125 TUB	バケット 0 %	(項単 数九広语時間) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
Ping 応答時間 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	B 125 EUB	パケット 0% <u>*</u>	4.単 思え広语特別 の 2.1 / β () 2.1 / β	部地は音妙間 のまり想	○
Ping 応答時開 0 ミリ砂 ・ デャネル マ	わして む 125 ミリめ 10 最新	パケット 0% <u>●</u> 値 ◆	項単 思力応音時間 のこり珍 ● こり珍 ■ 眉小値 ○	歴史の資料価 (1) シンジン (1) シンジン (2) ジンジン (2) ジン (2) ジンジン (2) ジン <td>○.</td>	○ .
Ping 応答時間 0 ミリ秒 0 ミリ グ アマネル マ Ping 応答時間	砂 125 ミリ珍 ID ● 最新 0 0 ミ		4.4 単本 単本 また また また また また また また また また また	単地の音句図 0 ミリ珍 6 ミリジジ 最大値 125 ミリ	¢ 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82 82
Ping 応答時間 0 ミリ砂 0 ミリ デャネル・ Ping 応答時間 パケット損率	秒 125 ミリキ ID 最新 0 0 ミ 3		4年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	EMULCIPHIC MULCIPHIC 0 ミリゆ 0 ミリゆ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	• * * * *
Ping 広答時間 クミリ砂 ジェリ砂 ジェリ砂 ジェリの ジェリシ ジェリシ ジェリシ シェリシ シェリシ シェリシ シェリシ シェリシ シェリシ ション シェリシ ション ション	秒 125 ミリ物 10 発新 0 の言 3 2 の言		42年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	EHRC2時間 の主以移 の主以移 ER大値 125 ミリ 60 257 ミリ	¢ 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
Ping 広答時間 クミリ秒 0ミリ デャネルマ Ping 応答時間 パケット損率 風大応答時間 最近応答時間 日本	秒 125 ミリゆ 10		4年 単本 単本 また ま 本 また ま 本 ま た ま 本 の ま い 参 の ま い 参 の ま い 参 の ま い 参 の の ま い 参 の の ま い 参 い の た の た の た の た い の た い の た の ろ つ た の た の ろ つ ろ つ た の ろ つ ろ つ ろ つ た つ ろ つ ろ つ ろ つ ろ つ ろ つ ろ つ こ の つ こ つ こ つ ろ つ こ つ こ つ ろ つ こ つ ろ つ こ つ ろ つ こ つ こ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	単地式等時間 0 まり持 0 まり持 0 まり持 125 まり 63 257 まり 65 まり 65 まり	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •

Ping センサー全般画面

詳細な監視結果はタコメーターのような「チャネル」で表示されている

Ping センサーの監視方法とステータス変化

Ping センサーは1回のスキャンで Ping を5回(変更可能)実行します。

5回すべての Ping に応答がなかった場合、センサーは警告ステータス(黄色)に変化します。

次のスキャン間隔でも 5 回すべての応答が無かった場合、センサーはダウンステータス (赤)に変化します。ダウンステータス変化は[新着警報]として PRTG の Web GUI 上にア ラート表示されます。

ステータス変化をトリガーとして、メールや警告灯点灯などのさまざまな通知を実行す ることもできます。デフォルトではメール通知が実行されます(後述)。

ヒント:

- 5回の Ping 実行のうち、1回でも応答があればセンサーステータスはアップステータス(緑)のままで変化しません。
- 初回エラー検知で警告ステータスへ変化後、次回スキャンが正常の場合はア ップステータス(緑)に戻ります。
- ・ 警告ステータスへ変化せず、初回エラー検知でダウンステータスに変化する 設定も可能です。

PRTG ではじめる Ping 死活監視



5回の Ping とエラー判定



センサーステータス変化の遷移

2回続けてエラー検知した場合に「ダウン」ステータスに変化

その後も連続してエラーを検知し続け、ダウンが継続した場合にはメール通知が実行される

各チャネルについて

Ping センサーは複数のチャネルを持ちます。各チャネルは次の内容を監視して、結果を 表示しています。

- Ping 応答時間:
 5回実行した Ping の平均応答時間
- ・パケット損率:
 5回実行した Ping で応答がなかった場合の割合(例:5回中1回応答なし=20%)
- ・最大応答時間:
 5回実行した Ping の最大応答時間
- ・ 最短応答時間:

5回実行した Ping の最短応答時間



センサー全般画面

タコメーターには各チャネルの最新値が表示

画面下部には最新値、最小値、最大値が表示

履歴データ閲覧 グラフとデータテーブル

各チャネルの履歴データはグラフ、データテーブルで確認できます。期間ごとのタブ([ラ イブデータ]~[365日])をクリックすると、その期間のグラフとテーブルが表示されます。 ライブデータでは直近2時間の履歴データを表示します。また、[履歴データ]タブから詳細 な期間を指定してレポート作成もできます。



ライブデータタブ画面

各チャネルの直近2時間のデータをグラフ、データテーブルで表示

	v7 L#-F D9	779 N 182	M/			#KRC	155
		~~~	<u>~~~</u>			<u></u>	~~
10	10	01	ġ		07	01	10
		(((		<ul><li>&gt;</li></ul>			
<ul> <li>Ping 応告時間</li> </ul>	(とり移) 🖬 最短応告時間	(ミリ羽) 🗧 最大	8苦時間	(ミリ羽) 🖪 パタッ	下別平	(%6)	
	日付と時刻	Ping 応答時間	最短応答時間	最大応答時間	パケット損率	停止時間	速用範囲
	平均 (115 億)	1 ミリ柳	○ミリ穆	2 ミリ税	0 %	8 %	100 %
	日付と時刻 *	Ping #52694111	最短北谷時間	最大応答時間	パケット損率 🖯	停止時間	速用税四 0
	2021/12/15 10:58:29	1 ミリ砂	○ミリ秒	4 注以段	0.%	0.96	100 %
	2021/12/15 10:57:59	0 三リ秒	0 三リ秒	1 三リ秒	0.%	0.96	100 %
	2021/12/15 10:57:29	2 ミリ砂	0ミリ秒	4 ミリ穆	0 %	0.96	100 %
	2021/12/15 10:56:59	0 문모₩	₀ミリ秒	0 르り秒	0 %	0.96	100 %
	2021/12/15 10:56:29	○注リ秒	○ミリ秒	○注リ秒	0.%	0.96	100 %
	2021/12/15 10:55:59	0 三リ粉	0 ミリ秒	1 三リ秒	0 %	0.96	100 %
	2021/12/15 10:55:29	1 ミリ砂	0 문나원	3 三〇秒	0 %	0.96	100 %
	2021/12/15 10:54:59	1回9秒	○ミリ秒	3 注り秒	0.%	0.96	100 %
	2021/12/15 10:54:49	1 三リ秒	0 三リ秒	4 三リ秒	0.%	0.96	100 %
	2021/12/15 10:54:47	エラー	エラー	エラー	19-	エラー	100 %
	2021/12/15 10:54:17	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	100 %
	2021/12/15 10:53:47	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	100 %
	2021/12/15 10:53:17	I9-	エラー	エラー	エラー	エラー	100 %
	2021/12/15 10:52:47	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	100 %
	2021/12/15 10:52:17	エラー	エラー	エラー	19-	I9-	100 %
	2021/12/15 10:52:03	エラー	エラー	エラー	19-	19-	100 %
	2021/12/15 10:52:02	I9-	エラー	エラー	エラー	19-	100 %
	2021/12/15 10:51:59	エラー	エラー	エラー	19-	I9-	100 %
	2021/12/15 10:51:58	エラー	エラー	エラー	I9-	19-	100 %
	2021/12/15 10:51/28	1 21100	0.21180	2 221 190	0.94	0.94	100.95

#### ライブデータタブ画面

エラーを検知したスキャンは赤く表示

このように、死活監視エラー、応答時間や Ping 損失率を監視することできます。 監視対象機器の死活状況や、通信が安定しているかを可視化することができます。

#### 3 設定手順

この章では具体的な設定手順を説明します。監視対象機器をデバイスとして登録し、デバイスに Ping センサーを追加することで PRTG による Ping 監視が可能になります。

#### 3.1 自動検出で複数デバイスと Ping センサーを一括登録

#### 前提環境

以下の環境を前提とします。

- PRTG はインストール済み
   インストール方法詳細は弊社 PRTG 情報発信サイトより 簡易マニュアルを参照
- PRTG をインストールしたマシンから監視対象機器へ Ping 疎通可能
   ※Ping 疎通ができない機器は自動検出できません。

#### 事前準備:監視対象機器の IP アドレスリスト

デバイスとして登録する監視対象機器の IP アドレスリストを用意しておきます。 1 行に1 つずつ IP アドレスを記載しておくと自動検出時に便利です。

192.168.91.111
192.168.91.112
192.168.91.136
192.168.91.219
192.168.91.240
192.168.93.12
192.168.10.27

#### IP アドレスリスト例

ヒント:IP アドレスの範囲やサブネットを指定した自動検出もできます。

#### 自動検出実行手順

デバイスとセンサーの自動検出を実行します。「自動検出グループ」を作成し、そのグル ープ内にデバイスと Ping センサーを自動検出します。

ヒント:

拠点やセグメント、役割などでグループを分けて自動検出をすると効率的です。 グループは後からでも追加できます。グループ配下のデバイスを別グループに移 動することもできます。

PRTG の Web GUI にログインし、

[+]アイコン->「自動検出グループの追加」をクリック



デバイスツリー画面

自動検出グループを作成する場所(オブジェクト)を選択 ここでは「ローカルプローブ」を選択して、[OK]をクリック

自動検出グループの追加(ステップ 1/2)	×	
親の選択		di.
自動検出グループの親オブジェクトを選択してください。		
PRTG マニュアル:自動検出		8
新規自動検出グループの追加 自動機由レベリとデバイス IP/ONS 名のリストを指定し、監視設定を自動化します。デバイスが作成され、適切なセンサーが自 動で追加されます。	I	re i tir
新規グループを追加するプロープまたはグループの選択		l
ー丸のプレーブ あたはグループと進行してくたといい 新焼品類的ホロクループを簡単に進加すりには、アハイスグ リーのプロープまたはグループと在クリックして、コンテクストメニューから自動検出グループの適加 – を選択 します。		
検索 Q		
↓ 雪 teot ▶ 雪 ローカルブローブ 「雪 第1 グループ		Contraction of the second seco

自動検出グループの追加(ステップ 1/2)画面

自動検出グループの追加画面で各種設定を定義します。

グループ名とタグ

グループ名:任意のグループ名

デバイスの識別と自動検出

自動検出レベル:「〇 特定デバイステンプレートを使用した自動検出」をチェック

_		_
I	ローカルブローブ への自動検出グループの追加 ×	c
00	ー 目動検出の優先順位の設定を行い、デバイスの IP/DNS 名を入力してください。PRTG がデバイスを作成し、運切なセンサーを自 動で急加します。必要に応じて、グループの資格情報およびアクセス権も指定してください。このグループのすべてのデバイス は、これらの設定を説定値として引き継ぎます。	l
	PRTG マニュアル: 自動検出	1
		d
	グループ名とタグ	
	グループ名 🔍	
	グループ	
	タヴ 0	
	0	
	デバイスの識別と自動検出	
	自動検出レベル 🔍	- 12
	○標準自動検出(推奨)	
	○詳細自動検出	GE
	● 特定デバイステンプレートを使用した自動検出	
	デバイステンプレート 0	

自動検出グループの追加画面

デバイステンプレート一覧が表示されるので、下へスクロールし 「□ 一般的なデバイス(Ping 監視のみ)」をチェック

	自動検出し			
-	○標準	自動検出(推奨)		
8)	◯詳細	自動検出		
t	● 特定:	デバイステンプレートを使用した自動検	出	
	デバイスき	テンプレート 0		
ות-ב				
			検索	۹
- 70	<b>•</b> =	テンプレート名	検索	<u>م</u>
	<b>□ \$</b> ;	テンプレート名 ADSL	検索	م 
□ プロ 計第1		Fンプレート名 ADSL Amazon CloudWatch	検索	Q

デバイステンプレート一覧 上部

_			_
		スイッチ(HP Procurve)	
-		プリンター (HP)	
		メールサーバー(MS Exchange)	
G Ce		メールサーバー (一般)	
	<b>~</b>	一般的なデバイス(Ping 監視のみ)	
-カノ		ー般的なデバイス(SNMP 有効)	
		一般的なデバイス(SNMP 有効、詳細)	
		環境ジャカルタ	
第 1			
	時間設定 💿		
	1 🗖	~	,
	IP アドレス打	fi定方法 [●]	

#### デバイステンプレート一覧 下部

- 下部にスクロールしてテンプレートを選択
- IP アドレス指定方法:「〇個々の IP アドレス (IPv4) /DNS 名の一覧」をチェック

ヒント:他の指定方法をチェックして、様々な方法でデバイス検出もで	゙きます。
詳細は画面ヘルプを参照してください。	
<ul> <li>▲約なデバイス (Ping 監視のみ)             <ul> <li>●給約なデバイス (SIMM 有効)</li> <li>●給約なデバイス (SIMM 有効)</li> <li>●給約なデバイス (SIMM 有効)</li> <li>●給約なデバイス (SIMM 有効)</li> <li>●総約なデバイス (SIMM 有効)</li> <li>●総約な (SIMM 有効)</li> <li>●総約な (SIMM 有効)</li> <li>●総約な (SIMM 有効)</li> <li>●総約な (SIMM 有効)</li> <li>●のドアドレス (Bitwo (Mono Salo = Salo = Salo = Salo = Salo = Prival (Simm 4 (Prival) (Points 名の = Salo = Prival (Prival) (</li></ul></li></ul>	
このフィールドに値を入力してください。	

「IPv4/DNS 名リスト」に事前準備した IP アドレスのリストをコピー&ペーストして入力します。IP アドレスは一行に1つずつ入力してください。

名前解決:「〇 DNS 名を使用する(推奨)」をチェック

ヒント:デバイスの名前解決が可能な環境の場合、デバイス設定「IPv4 アドレス

/DNS 名」が DNS 名で登録されます。IP アドレスで登録したい場合は「OIP ア ドレスを使用する」をチェックしてください。※どちらを選択した場合でも、DNS 名前解決可能なデバイスの「デバイス名」は DNS 名になります。

<ul><li>     個々の IP アドレス (IPv4) /DNS   </li></ul>	名の一覧
◯ IP アドレスとサブネット(IPv4)	
○IP アドレスの範囲指定(IPv4)	
〇個々の IP アドレス(IPv6)/DNS	名の一覧
○ Active Directory からコンピュータ	ターを使用する(コンピューター最大数 1,000 台)
IPv4/DNS名リスト	
192.168.91.4 192.168.91.11 192.168.91.112 192.168.91.136 192.168.91.219 192.168.91.249 192.168.93.12 192.168.10.27	
名前解決 🔍	
<ul> <li>DNS 名を使用する(推奨)</li> </ul>	
○IP アドレスを使用する	

[OK]をクリック

自動検出が開始され、完了するとデバイスと Ping センサーが自動追加されます。

全般	日	日	B	警報	ログ	管理	設定	L	通知
✓ 16 (/ 16)	S M	L XL 🎯				検索		Q	6
		Z         P           Z         P           Still         Still           Still         Still           T         Trend           T	ム正常性 25%     シ 25%     シ 10 kbit/約     ・ センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加 センサー海加	ブローブの正 100% ゼンサー追加	<ul> <li>ディスク空き</li></ul>	Common SaaS. 100 9			

#### 自動検出完了後のデバイスツリー画面

ローカルプローブ配下に新しいグループが追加され、

グループ内に IP リストのデバイスと各 Ping センサーが追加された

自動検出で複数のデバイスと Ping センサーを一括登録できました。 Ping による死活監視が開始できました。

#### 3.2 通知設定

#### デフォルトの通知設定

デフォルトでは Root オブジェクトの「通知トリガー」設定のルールに基づいて通知が実 行されます。

							p	II 🔒 🖂	
30 日	365 日	▲ 警報	■ ログ	≨ 管理	<b>♀</b> 設定	通知トリガー	り イベメロ	間履	
1 - 1							7/12-75		
ルール 継続して を送信す	600 秒以上、 る 🖸 を実行	センサーのス [:] する	テータスが <b>ダウ</b>	<b>シ</b> の場合、 <u>@</u>	管理者に	メール通知やプッシュ通知	<ul><li><b>i</b></li></ul>		
(ID:1) 継続して 900 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合に、通知なし を実行し、0 分ごとに繰り返す センサーステータスがダウンでなくなったときに、 ◎ ▶ 管理者にメール通知やブッシュ通知を送信する Ø を実行する									
	30 日 ルール 継続して な送信す 継続して センサー を実行す	30     365       日     日         ルール       継続して 600 秒以上、       を送信する (2)       を実行       継続して 900 秒以上、       ケンサーステータスた       参実行する	30     365     ▲       日     日     当報       ルール     継続して 600 秒以上、センサーのス:       査送信する(2)     を実行する       継続して 900 秒以上、センサーのス:     センサーステータスがダウンでなくた       クェディする     シュータスボダウンでなくた	30     365     ▲     国 ログ       日     日     普報     ログ         ルール       継続して 600 秒以上、センサーのステータスが ダウ を送信する(2)     を実行する       継続して 900 秒以上、センサーのステータスが ダウ       センサーステータスがダウンでなくなったときに、       タ実行する	30     365     ▲     □     葉       日     日     営報     ログ     管理         ルール       継続して 600 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合、@       を送信する @     を実行する       継続して 900 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合に、       センサーステータスがダウンでなくなったときに、@ > 管理者に、       を実行する	30     365     ▲     ■     幸     ◆       日     日     営報     ログ     管理     設定         ルール       継続して 600 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合、@ > 管理者に       を送信する (全)     を実行する       継続して 900 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合、 週知なし を調       センサーステータスがダウンでなくなったときに、 @ > 管理者にメール通知や 参定行する	30     365     ▲     □     菜     ●       日     日     吉報     ログ     管理     設定     通知トリカー         ルール       継続して 600 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合、     ●      管理者にメール通知やブッシュ通知       を送信する     ど信する       継続して 900 秒以上、センサーのステータスが ダウン の場合に、     通知なし を実行し、0 分ごとに繰り返す       センサーステータスがダウンでなくなったときに、     ●      管理者にメール通知やブッシュ通知を送信する	JO       365       ▲       回       菜       ●       資数       通知トリカー       ○       コメント         別       日       日       日       ログ       管理       設定       通知トリカー       ○       コメント         パール       アクション          アクション <t< td=""></t<>	

Root オブジェクトの[通知トリガー]タブ

デフォルトのルールでは、600 秒以上 Ping センサーのダウンステータスが継続した場合、 PRTG インストール時に入力した管理者メールアドレスにメール通知が実行されます。上記 の通知が実行された後、センサーがダウン状態ではなくなった場合にも管理者メールアド レスにメール通知が実行されます。

通知トリガーのルールは変更できます。右側の「鉛筆」アイコンをクリックして変更しま す。変更方法詳細は弊社 PRTG 情報発信サイトより簡易マニュアルを参照してください。

#### 3.3 デバイスが自動検出されない場合

自動検出実行時に Ping 応答がない機器は、デバイスとして自動検出/追加されません。 PRTG と監視対象機器間で Ping 疎通可能かどうか確認してください。

例えば以下のような原因で疎通できない場合があります。

- ・ 監視対象機器が動作していない
- PRTGと監視対象機器間でICMP プロトコル通信がブロックされている 監視対象機器が PRTG の IP アドレスからの ICMP エコー要求を受け付け、エコー応答 を返せる環境になっているかを確認してください。

例:Windows ファイアウォールの設定、ネットワーク機器の ACL 設定、通信経路の ファイアウォール設定

ヒント:機器と Ping 疎通できない場合でも、デバイスと Ping センサーを手動追加できます。手動追加方法は簡易マニュアルを参照ください。Ping 疎通ができないデバイスに Ping センサーを手動追加すると、センサーは追加後にダウンステータスへ変化します。Ping 疎通が可能になるとアップステータスに変化します。

#### 4 Ping センサーの設定変更

この章では Ping センサー固有の設定について説明します。一度のスキャンで実行する Ping の回数や、センサーステータス変化の条件などを変更できます。

Ping センサー全般画面で[設定]タブをクリックすると設定画面に遷移します。

<b>ホ</b> ーム	デバイス	ライブラリ	センサー	警報	マップ	レポート	ログ
デバイス	ローカルプローブ 🔻 グ	ループ 🔹 192.168.9	1.111 💌 Ping 💌				
' センサ-	– Ping 🏁 *****						
ОК							
の金	股 (**) ライブデータ	2 日	30 日 100 日	▲ 履歴データ	■ ログ	🌣 設定	▲ 通知ト
:	This sensor supports the IPv This sensor has a very low p See the Knowledge Base: 24 See the Knowledge Base: 24	6 protocol. erformance impact. How to create/customi Can I create an inverse	ze statistical Ping senso Ping sensor?	<u>or?</u>			
	センサー基本設	定					
	t	ンサー名 ^① Ping					
		親のタグ 🗊					

Ping センサー全般画面

#### Ping 設定

タイムアウト(秒):応答を待つ時間を設定します。 パケットサイズ(バイト):Ping のパケットサイズを設定します。

Ping 方法:一度のスキャンで複数回の Ping を実行するかどうかを設定します。

Ping 送信回数:一度のスキャンで実行する Ping の回数を設定します。

Ping 遅延 (ms):複数回実行する Ping 間の待ち時間を設定します。

自動承認:エラー時に自動的に「ダウン(うち認識済)」ステータスすることができます。

	タイムアウト (秒) 🔋	2		
パケットサイズ (バイト) 🖲		32		
	Ping 方法 🔍	<ul> <li>○ Ping を1回送信する</li> <li>● Ping 要求を複数回送信する</li> </ul>		
	Ping 送信回数 🖲	5		
	Ping 遅延(ms) 🕚	5		
	自動承認 🔍	●エラー時にダウン状態と表示(デフォルト ○エラー時にダウン(うち認識洛)状態と考	<) 表示	

#### Ping センサー設定画面

Ping 方法を「Ping を 1 回送信する」に変更すると、1 回の Ping 応答有無でエラーを判断 できます。

#### スキャン間隔

スキャン間隔:スキャン間隔を変更できます。自動検出で追加した Ping センサーは 30 秒 で設定されます。

センサークエリが失敗した場合:センサーステータス変化の遷移条件を設定します。

デフォルトでは初回のエラー検知で警告ステータス、次のスキャンで続けてエラー検知 した場合にダウンステータスに変化します。

「ただちにセンサーをダウン状態に設定する」に変更すると、初回のエラー検知でセンサ ーはダウンステータスに変化します。

※「ただちにセンサーをダウン状態に設定する」を選択した場合でも、センサーログには 一瞬「警告」ステータスに変化したエントリが残ります。これは製品仕様です。

人キャン間隔		
〇) 引継ぎ元 回 192.168.91.111 (2	スキャン間隔:5分,ただちにセンサーを[b]ダウン[/b]状態に設定する)	
スキャン間隔 🔍	30秒	~
センサークエリが失敗した場合	センサーを 1 回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する(推奨)	~
0	The second	
	ただちにセンサーをダウン状態に設定する	
	たたちにセンサーをダウン状態に設定する センサーを1回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する(推奨)	
味問乳学 と优方問係 と	たたちにセンサーをダウン状態に設定する センサーを1回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する(推奨) 。センサーを2回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する	
時間設定と依存関係と一	たたちにセンサーをタウン状態に設定する センサーを1回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する(推奨) センサーを2回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する センサーを3回目の警告状態にし、その後にダウン状態に設定する	
時間設定と依存関係と一	たたちにセンサーをタウン状態に設定する センサーを1回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する(推奨) センサーを2回目で警告状態にし、その後にダウン状態に設定する センサーを3回目の警告状態にし、その後にダウン状態に設定する センサーを4回目の警告状態にし、その後にダウン状態に設定する	

Ping センサー設定画面

#### 5 まとめ

PRTG を使用して Ping を用いた死活監視を実施する方法を紹介しました。Ping センサー で監視対象機器の死活監視と応答時間監視ができます。自動検出することで複数の監視対 象機器にかんたんに Ping 監視の設定ができます。PRTG には Ping センサー以外にも様々 なセンサーがあり、Ping 監視同様にかんたんに監視をはじめることができます。

#### 免責事項・使用限定事項

ジュピターテクノロジー株式会社(以下当社と略記します)が作成した本ドキュメントに 関する免責事項および本ドキュメント使用に関する限定事項は以下の通りです。

#### 本ドキュメントに関する免責事項

本ドキュメントは作成時点においてメーカーより提供された情報および当社での検証結 果により作成されたものですが、当社は本ドキュメントの内容に関していかなる保証をす るものではありません。万一、内容についての誤りおよび内容に基づいて被った損害が発生 した場合でも一切責任を負いかねます。本ドキュメントの内容によりなされた判断による 行為で発生したいかなる損害に対しても当社は責任を負いません。

#### 本ドキュメント使用に関する限定事項

別に定める場合を除いて、本ドキュメントの取り扱いは当社より提供を受けたお客様に よる私的かつ非営利目的での使用に限定されます。お客様は、本ドキュメントについて、変 更、コピー、頒布、送信、展示、上映、複製、公開、再許諾、二次的著作物作成、譲渡、販 売のいずれも行うことができません。

ジュピターテクノロジー株式会社(Jupiter Technology Corp.)

住所: 〒183-0023 東京都府中市宮町一丁目 40 番地 KDX 府中ビル 6F URL: https://www.jtc-i.co.jp/

電話番号: 042-358-1250

FAX 番号: 042-360-6221

お問い合わせ先:https://www.jtc-i.co.jp/support/customerportal/

発行日 2022 年 10 月 6 日